科目コード	R1045	科目名	関係法規（平成25年度カリキュラム）				
履修区分	必修	開講期	4年後期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	髙島　千敬						
授業の概要	リハビリテーションに関係する法律や診療報酬、介護報酬の仕組みを解説し、専門職として必要な知識と運用について実例を通じて教授する。保健医療職として、わが国の保健・医療・福祉に関する諸制度の概要を学ぶことは非常に重要であり、対象者・利用者だけでなく、自分を守るためにも不可欠である。さらに保健・医療・福祉に関する報道を、より理解する上で必要な法規についても教授する。						
DPとの関連	①平和を希求する心と豊かな人間性を身につける						―
	②修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける						―
	③高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける						―
	④地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける						―
	※DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力						
到達目標	1.　リハビリテーションに関係する制度を5つ以上あげ、その内容を具体的に説明することができる。 2.　障害者のライフステージに応じた制度活用について、年齢区分に基づき説明ができる。 3.　介護保険において、リハビリテーションの提供のために活用できるサービスを2つあげ、その内容を説明することができる。						
履修上の注意事項	資料を配布して講義する。 講義中のスマートフォンの使用は禁止、私語も慎むこと。						

授業計画	回数	講義内容【担当教員】	事前・事後学修
	1	社会保障とリハビリテーション	
	2	医療保険とリハビリテーション	
	3	介護保険とリハビリテーション	
	4	障害福祉サービスとリハビリテーション	
	5	社会資源と制度の利用	
	6	指導・監査、記録・関係帳簿	
	7	同意と契約、日常診療・ケアに関する重要事項	
	8	まとめ	

成績評価方法	期末試験100% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。

	書名・著者（出版社）	ISBNコード
教科書		
参考書	入門リハビリテーション概論　第7版 ・ 中村隆一 編（医歯薬出版社）	978-4-263-21326-1
	事例解説　リハビリ事故における注意義務と責任 ・ 古笛恵子・編著（新日本法規）	978-4-7882-7579-9

教員からのメッセージ	医療・保健・福祉領域の療法士の仕事は、諸法に基づいて行われています。それぞれの領域で自分が働く場合をイメージしながら講義に臨んでください。
教員との連絡方法	髙島　千敬：301研究室　takashima@hcu.ac.jp
実務経験のある教員	大学病院での疾患別リハビリテーション（脳血管疾患等、呼吸器、心大血管疾患、運動器）とがん患者リハビリテーションを経験、通所リハビリテーション、住宅改修等の支援も行ってきた。社会保障制度については、日本作業療法士協会の常務理事として制度全般を担当している。 認定資格：認定作業療法士、専門作業療法士（がん）、呼吸療法認定士、呼吸ケア指導士、心臓リハビリテーション指導士、腎臓リハビリテーション指導士、学芸員、福祉用具プランナー、障害者スポーツ指導員（初級）、障害学生支援実務者育成研修会「基礎プログラム」、「応用プログラム」修了、両立支援コーディネーター基礎研修修了、JIMTEF災害医療研修ベーシックコース修了。